

スイス・ロマンド文学コレクション

スイス・ロマンドの文化

スイスには4つの公用語がある。そのうちの 하나가フランス語で、120万人の住む言語圏を構成している。この言語圏を、人々は愛郷の気持ちを込めて、「スイス・ロマンド」地方と呼び習わす。フランスの一部を思わせる「フランス語圏スイス」をあえて避けた名称である。有名なスイス・ロマンド交響楽団の名前の由来もここにある。

ジュネーヴ、ローザンヌ、フリブール、ヌシャテルなどの国際的に著名な町が点在するこの地域は、思想家ルソー、文人スタール夫人、言語学者ソシュール、心理学者ピアジェ、建築家ル・コルビュジエ、詩人サンドラール、赤十字創設のデュナン、映画監督ゴダール、音楽家アンセルメ、指揮者デュトワなど数多くの文化人を輩出し、また宗教改革のカルヴァンや啓蒙思想家ヴォルテールなどヨーロッパ精神文化を形成するのに多大な影響力をもたらした人々の活躍の場でもあった。ジュネーヴ学派としてその名を知られたマルセル・レーモン、ジャン・ルーセ、アルベール・ベガン、ジャン・スタロビンスキなどは世界の文学研究にも大きな刺激をあたえた。チャップリンやオードリー・ヘプバーンなどが晩年をすごした魅力ある文化圏としてもよく知られる。

当コレクションはこのような地域に関わった人々によって生み出された文学作品を中心に、周辺の諸著作と資料を網羅した日本で唯一のコレクションである。和洋あわせて約2000タイトルを収蔵する。

■ 分野別概要

A 作品と研究書

- **文学作品**：散文、詩、評論文、エッセー、民話、旅行記、回想録など
- **研究書**：作品論、作家論、文芸評論、文学史、事典、文芸誌、研究雑誌など

B 周辺資料

- **文化**：美術、演劇、映画論、画集、各地方方言論、比較言語(仏/瑞)、語彙集など
- **歴史**：スイス全史、歴史人名、各地方史など
- **地理・風俗**：スイス全土の風俗、各地方地誌、伝承、地図(全土)、観光地図、鉄道地図、ガイドブック、ヨーデル歌詞、写真集(アルプス風景、歴史記録)など
- **社会**：憲法、政体、経済、統計、宗教、出版文化など
- **辞典・事典**：文学、百科、歴史、方言、地理、地域(州など)、人名など
- **雑**：郷土料理、時計に関するものなど

C その他資料(書籍形態以外の資料など)*)

1. 書籍のコピー(手に入りにくい作品)
2. スイス文化関連事項掲載雑誌(和書)
3. 作家別記事(新聞・雑誌)切抜き
4. 分野別記事(新聞・雑誌)切抜き(文化、社会、経済など)
5. 地図(全国・都市・交通など)
6. 観光パンフレット(全国、各都市・地域)
7. その他の資料(スイス著述家カード、作品朗読テープなど)
8. 紀要論文(抜刷)：主に日本人による研究
9. 風景スライド([A:市町村別、B:テーマ別]約6000枚)
10. 別請求記号与もしくは重複した雑誌

11. 別請求記号与もしくは重複した図書

*) 請求記号を付与せずに「スイス・ロマンド文学コレクション」に関連付けて別にリストを作成し、本コレクションの利用に供するように一括別置してある。「資料リスト」はカウンターに備えてある。

なお、当図書館には、「スイス・ロマンド文学コレクション」構築以前から所蔵しているスイス・ロマンド文化関係の図書が多く存在する。これらは、コレクション分類番号(950/30)とは別に、配置されている。バンジャマン・コンスタン(Benjamin Constant)、スタール夫人(Germaine de Staël)、アミエル(Henri-Frédéric Amiel)、ブレーズ・サンドラール(Blaise Cendrars)、ロドルフ・テプフェル(Rodolphe Töpffer)ジャン・ピアジェ(Jean Piaget)、ジャン・スタロバンスキ(Jean Starobinski)などである。OPACで検索の上、併せてご用ください。

■ コレクションの概要

1992年に法政大学図書館が購入した資料と、2010年に本学社会学部加太宏邦教授より寄贈された資料で構成されています。

「洋書」約 1,900 タイトル 「和書」約 200 タイトル 「その他資料」(11 分類)

■ 所蔵形態

- 法政大学多摩図書館書庫に請求記号 950/30 のもとに一括して配架してあります。
- 「その他資料」についてはカウンターに申し出てください。

スイス・ロマンド文学コレクション

その他の資料

法政大学多摩図書館